

研究室OBOGがそろって湯浅賞を受賞!—お二人のコメント—**Mr.Imamura and Ms.Yamada are awarded the Yuasa Prize!-Their comments arriving!**

99号の田中さんに続き、またまた研究室にうれしいニュースが舞い込んできました!2009年不動産学会湯浅賞において、OBの今村洋一さん、OGの山田渚さんが共に研究奨励賞を受賞されました!

Congratulation! Here is good news for us. Mr.Imamura(our Old Boy) and Ms.Yamada (our Old Girl) are given the Research Encouragement Prize at a ceremony of the Yuasa Prize in 2009.

今村洋一さんの博士論文である「戦後日本の都市づくりにおいて旧軍用地が果たした役割に関する研究」と、山田渚さんの修士論文である「都市型漁業集落における水辺の空間構造と利用形態に関する研究～横浜市子安浜を対象として～」が、それぞれ博士論文研究奨励賞、修士論文研究奨励賞を受賞されました。お二人からメールの形でコメントを授かっています。

今村洋一さんのコメント**一受賞の感想を一言お願いします。**

私のような凡人が賞と名のつくものを頂けることは、一生のうちにそう何度もあるわけではありません。素直に嬉しいです。ご指導いただいた先生方、研究室の同朋に感謝です。

一研究テーマを「戦後日本の都市づくりにおいて旧軍用地が果たした役割に関する研究」に決めたきっかけは?

豊川海軍工廠跡地の脇を電車で通りかかった際、脳裏に旧軍用地というキーワードが浮かびました。それで調べだすと、なかなか面白いし広がりがありそうだと感じました。

一論文執筆において苦労したことは?

論文をとりまとめる段階では職場に復帰していましたので、まとめた時間を作るのに苦労しました。時間は自分で作るものだというのを実感しましたね。

一研究室生活での思い出は?

鞆の浦や喜多方での宿舎的プロジェクトも思い出深いです。当時、お酒が入った時に学生同士で、都市を愛するとは?愛される都市とは?と、都市愛について語り合ったことが懐かしく思い出されます。

一最後に、後輩に一言お願いします!

自省から一言。研究だけでなく何事もそうだと思いますが、最後に手を抜かないこと、目に見える成果として形にすることが肝心です。

■今村さん略歴

1997年3月 筑波大学第三学群社会工学類 卒業
2008年3月 東京大学工学系研究科都市工学専攻博士過程修了博士(工学)
(2002年2月～2009年4月 三菱UFJリサーチ&コンサルティング研究員)
2009年5月～新潟大学自然科学研究科環境共生科学専攻都市人間環境学 助教



△山田さんの修士論文の冊子
◁授賞式当日の山田渚さん

山田渚さんのコメント**一受賞の感想を一言お願いします。**

率直に嬉しく、光栄に思います。

一研究論文のテーマを「都市型漁業集落における水辺の空間構造と利用形態に関する研究～横浜市子安浜を対象として～」に決めたきっかけは?

子安浜を知ったのは、M1の6月に京浜を野原助教に案内してもらった時です。その後、都市の水辺に興味をもって、東京湾や横浜港でのクルーズやシーカヤックに参加していく中で、子安浜の特殊さというか、異様さを再認識し、魅せられていきました。その後は、「なんでこんな空間ができたのか?」「このまちの人はこの空間をどう使ってるんだろう?」という自ら湧き出る興味に名前を付けたら、論文になりました(笑)。

一論文執筆において苦労したことは?

地縁やコミュニティの強い、歴史ある漁業町である子安浜での研究では、何より人間関係の構築が鍵でした。実は子安浜には知人が一人いて、その方を頼りにヒアリングを始めたものの、途中で協力してもらえなくなってしまったんです。もう9月に入っていて対象地を変えるのも難しく、研究の手がかりもないまま不安でいっぱいになりましたが、とにかくできることから調査しようと、浜沿いを不審者のように「ウロウロ」して1日過ごしました。そうしたら、ラッキーなことに、一人の御隠居が声を掛けて下さり、次々と漁業関係者を紹介して下さいました。行き詰ったときこそ、とにかく現場に行くことが大事ですね。

一研究室生活での思い出は?

論文中の唯一の楽しみでもありましたが、同期や先輩・後輩と夕飯を食べたのが思い出深いですね。9階の大机を囲みながら、論文の相談をしたり、くだらない話で息抜きしたり。同じ食卓を囲んでいた研究室の皆さんは、私にとっては家族のような存在でした。あと、ちょくちょく西村先生から差し入れられる各地の美味しいお土産にも随時癒されました。

一最後に、後輩に一言お願いします!

頑張ったことは、見てる人はちゃんと見てくれています。自分の興味や疑問に自信をもって、青臭い主張をどどんぶつけていってください。

■山田さん略歴

2007年3月 東京大学工学部都市工学科卒業
2009年3月 東京大学工学系研究科都市工学専攻修士過程修了修士(工学)
2009年4月～横浜市まちづくり調整局宅地審査課

お二人ともお忙しい中、本当にありがとうございました!
研究室一同、お二人のますますのご活躍を祈っています!

各プロジェクト、いよいよ本格化！ The projects are proceeding actively !

各プロジェクトは現地訪問をしながら、ワークショップにアンケート調査にと大忙しです！

text_yamashita

足助PJ2年目が始動！

B4 毛井意子

6月10日から4日間、昨年度の活動報告をしようと思ちなかの公民館をお借りしてパネル展示を行いました。新聞に載った経緯もあり予想以上の方々が訪れてくださり、提案に対する率直な意見や要望を伺うことができました。

この展示に並行して初めて足助を訪問するメンバーでまち歩きを行い、まちなみライトアップイベントの“たんころりん”や廃屋となってしまっている商家を見学しました。景観デザインガイドを作る住民組織の会議にも参加させていただき、まちづくり組織のありかたについて考えさせられる良い機会にもなりました。“まちをよくしていきたい”というたくさんの足助の方々気持ちにこたえられるよう、1年目に先輩方が積み重ねてくださった調査や環境をいかにしながら、今年度実現に結びつく活動をしていきたいと思ひます。



△中日新聞豊田版(6月13日)に掲載



△歴史的な建造物の見学に臨むPJメンバー

神楽坂PJ公開ワークショップ開催

D1 松井大輔



△意見を聞く坂本氏とM1永野

6月6、7、13、14日の4日間、神楽坂で行われたワークショップに参加してきました。神楽坂の自称ワークショップ男・坂本氏の呼びかけで実施された今回のワークショップ。神楽坂通りを行き来する人々に神楽坂のまちの印象(好きな所や嫌いな所)を聞き、その場で意見を分類していくという、世界初(?)の公開ワークショップを試みました。ところが初めての試みなので、誰もワークショップの進め方がわからない・・・!! そんなあり得ない状況から始まった公開ワークショップでしたが、少しずつ方法論を固めながら4日間で500名以上の参加者から神楽坂に対する思いを聞くことができました。会場の壁面が参加者の意見で埋まっていく光景は、まさに圧巻の一言。大成功に終わったと思ひます。老若男女さまざまな神楽坂の人々と話すことができた今回のワークショップは、神楽坂PJメンバーにとっても大きな刺激となりました。

佐原PJ観光客追跡調査

text_suzuki

佐原PJメンバーは6月13、14日と佐原の町で観光客の追跡調査を行いました。それを今後計画しているお祭りでの実験や、その後の提案につなげていきたいと思ひます。

浅草PJアンケート調査

text_suzuki

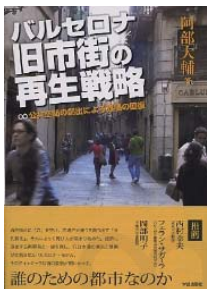
浅草PJメンバーは6月20日にアジサイ祭りに行って、来場者の方にアンケートをしました。アンケートの内容はアジサイ市や浅草界隈のまちづくりについて伺いました。

研究成果が続々書籍化！

Mr.Abe and Mr.Nakajima 's books are published now !

text_yamashita

阿部特任助教著の「バルセロナ旧市街の再生戦略」と中島助教共著の「都市計画家石川栄耀」が刊行されました。そこで、「バルセロナ旧市街の再生戦略」について著者の阿部さんからコメントを頂きました。



△バルセロナ旧市街の再生戦略 阿部大輔(著)



△都市計画家 石川栄耀 中島直人(共著)

「バルセロナ旧市街の再生戦略」について

阿部大輔

本書は博士論文をベースとしています。出版にあたっては、文章を平易に、図版を拡充するなど、できるだけ読みやすい本となるように心がけました。旧市街の薄暗い路地とそこから見上げる地中海の青空、そして独特の「匂い」とで織りなされる風景は、僕のこの10年間、つまり2000年代と分ち難く結びついていました。研究を開始した当初から、せっき論文を書くのであれば、術学的にならずせめて自分が読んで旅に出たくなるような論文を書きたいと思ひ続けていました。拙著を読んでバルセロナに行ってみたいなあと思ひただけなのであれば、これに勝る喜びはありません。

情報欄

・研究室元助手の遠藤新先生が今年度から工学院大学准教授に就任し、その就任パーティーが6月19日(金)にお茶の水で開かれました。詳細は次号お送りします！

編集後記

text_yamashita

はじめまして、新しく編集部員となりました山下です。101号という新たなスタートでマガジン編集の担当ができたことをとても光栄に思っています。6月もう終わりで大学院入学からの2カ月があつという間に過ぎて行こうとしてます。院生の2年間の生活もこのように過ぎて行くのかなと思うと、限りある時間の使い方に気をつけなくてはと思う今日この頃です。まあ焦らず、焦らず、マイペースで。よろしくです。

都市デザイン研究室 7月上旬の予定

7月1、2日 佐原PJ現地調査
7月4～6日 駒PJ現地調査